

Q1 明学生が学習に使用している端末

やっぱり、大学生といえばパソコン！明学生が学習に使用している端末について調査したところ、パソコン派が圧倒的に多い結果となりました。さまざまな端末がある中で、それぞれどんな理由で選ばれているのでしょうか。

第3位 12%

紙

書いた方が覚えやすい、
タイピングに慣れていなくても大丈夫、
自由に書ける

第2位 14%

タブレット

持ち運びのしやすい、
スタイラスペン(タッチペン)と併用して資料やノートへ
直接書き込める

第1位 67%

PC

授業で使いやすい、
画面が大きい、
複数のページを同時に
閲覧できる

第4位 7%

スマホ

常に持ち歩いている、
電車内でも使いやすい、
手軽にすぐ使える

PCが堂々の1位！
タブレットと使い分ける
学生も多い結果に！

皆さんは、学習のために
どんなツールを使っていますか？
今回の企画では、
明学生の学習ツールや
その活用方法は大調査！
あなたの新しい
「お役立ちツール」が
見つかるかも…？

Q2 おすすめの学習アプリ



Goodnotes

明学生に人気のノートアプリ。
赤シートやAI要約機能など、
学習向けの機能が揃った万能ノートです！

Google Gemini、
ChatGPT

今の大学生にAIは不可欠！
外国語の会話練習や
問題作成など、
用途に応じて上手に
活用しています。

アプリを
上手に活用して
毎日の学習をもっと
効率化しよう！

i-暗記シート

問題集等についてくる
赤シートを実現したアプリ。
資料を撮影すると
自動で赤シートに変換！
スマホ一つでいつでも
暗記学習ができます。

Duolingo

ゲーム感覚で
語学学習ができ、
連続記録を維持するために
毎日継続する
明学生も多数！

Notion

AI搭載で、授業メモやToDoリストの作成から
チームでのデータ共有まで、
これ一つで一括管理！



Jupyter
Notebook

Pythonを
Webブラウザ上で
実行できる優れたもの。
プログラミング学習や
データ分析に
役立ちます。

プログラミングや
データ分析など
新しい学びにも
挑戦！

Q3 学習管理アプリ

Focus
Flight

フライトをコンセプトに、
集中力を高める工夫が
詰まったアプリ。
楽しく作業効率を
アップさせることが
できます。

Studyplus

勉強時間を記録・グラフ化できるアプリ。
友人と共有して、
勉強量を競い合うのも
おすすめです！

明学生の

学習 ツール 大調査

ポートホバンアンケート回答数: 70件

板井咲希(心理学科2年)、今泉優亜(グローバル法学科2年)、柳 啓太(社会学科1年)、原田美生(国際キャリア学科1年)



mikan

さまざまな資格に対応した
英語学習アプリ。
単語だけでなくリスニングや
文法もパッチリ網羅！

単語学習や授業で使えるアプリが
多く挙げられました。英語だけでなく、
初習外国語や歴史用語も勉強
したいという声もあり、重い教科書
を持ち歩かずに学習できる手軽さ
が魅力です。

Q4 これから試したい ツール・アプリ

アナログツールも
根強い！

紙のノートの
メリット・活用方法

手書きは内容が頭に入りやすく、デジタル機器よりも「勉強した」という実感が湧くといった声が多く寄せられました。学期終了後に自分の筆跡を見返るのが好きだという意見もあり、手で書く経験が頑張った証になっているようです。



ルーズリーフ

ノートを取る際、
ページの取り外しや
並べ替えを
自由にできるのが
利点。



Campusのノート

見た目が
かわいくて、
選ぶのが楽しい！

タブレット派

私たちはこんな風に 活用しています！

PC派

使用ツール・用途・メリット

松成さんは、主に講義や塾講師のアルバイトでパソコンを活用しています。汎用性の高さ、紙と違って紛失しない安心感、そしてタイピングによる入力スピードの速さがパソコンのメリット。タイピング技術は「e-typing」というサイトで練習し、得点化やグラフ分析によって上達を実感できたといいます。

PDFの授業資料にはテキストボックス機能で直接書き込みを行いつつ、普段のメモにはメモ帳アプリを併用。検索や学習補助にはAツール「Claude」を活用し、テスト問題を作成させるなど勉強に役立っています。また、連絡・共有アプリ「Discord」をスマホとパソコンの両方に導入し、どちらの端末からでもスムーズにデータを確認・共有できるように工夫しています。

おすすめの活用方法

Excelを活用し、期末テストの2〜3週間前から勉強計画表を作成。終わったタスクに色をつけることで、計画の進捗状況が一目で分かるようにしています。

PC派/心理学科2年 松成さん

購入の際は、Apple Pencilなどのスタイラスペンに対応していることと、本体の画面サイズを重視することをおすすめしてくれました。作業効率やノートの取りやすさが格段に向上するそうです。



タブレット派/グローバル法学科2年 瀧川さん

使用ツール・用途・メリット

瀧川さんは、大学入学前から11インチのiPad Airを愛用しています。パソコンも所有していますが、「スマートフォンに近い感覚で直感的に操作できるiPadの方が使いやすい」と感じ、現在はiPadを中心に学習を行っています。

授業ではノートアプリ「自由ノート」を使って手書きメモを取り、タブレット使用不可の講義では紙に書いたノートを後からスキャンしてデータ化。配布資料と一緒に保存して一括管理しています。また、自分専用のデジタル単語帳を作成し、語学学習や暗記科目にも活用。電子書籍アプリ「Kindle」で教科書を管理することで、重い紙の教材を持ち歩く必要がなくなり、通学時の負担も大幅に軽減されました。

おすすめの活用方法

授業資料への直接書き込みによる復習をはじめ、デジタル単語帳や二画面表示機能をフル活用。一方で、Zoomの参加や調べ物にはパソコンを使うなど、用途に応じて使い分けています。

Apple Pencilは細かい文字が書きやすいだけでなく、iPhoneから位置を確認できる機能があるため紛失防止にも役立つとのこと。YouTubeなどの学習動画も大画面で視聴でき、二画面表示(Split View)機能を生かして動画を見ながらノートを取るなど、効率的な学習を実現しています。

購入時は充電スピードや動作性を重視して選んだそうですが、実際に大学生生活を送る中では「バッテリーの持ち」が最も重要だと実感しているそうです。